

メイドインアキタ

自動車産業振興に挑む

Made in Akita

安全を最優先に、品質が安定したモノづくりを地道に教育する動きが秋田にもある。「目標を立てて、みんなで力を合わせて部品を造ることが楽しい」。大橋鉄工秋田（秋田県横手市）へ入社して

4カ月の高橋由紀子さんは、生き生きとした表情で語る。

その③ 人材育成

製造現場で班長を務める

現場の作業工程や監盤業務を学んだ。「家族を乗せて走る愛車の部品の一部を造っているという誇りがある。こうした部品を造る工場が横手にあることを知ってもらいたい」と、雇用拡大による地域経済の活性化を期待する。

女性の活躍も目立つ。車載用各種センサー部品など、プラスチック成形品を生産する睦（むつみ）特殊金属工業（本社東京都）。横手市の秋田工場で働く小野寺孝子さんは、2014

女性も現場で活躍



真剣な表情で部品を測定する大橋鉄工秋田の高橋さん

集積に向けた課題は、技術力を底上げするための人材育成だ。

精密な自動車部品を、より高い精度で生産する技術に加え、グローバルで競合が激化する部品の小型化対応も重要になる。

拡大する雇用で地域に元気を

モノづくりの誇り

高橋さんの前職は農業関係。製造業に携わるのは初めてだが、技能を高めようと毎日努力している。職場

村田圭さんは地元出身。大橋鉄工秋田の立ち上げメンバーの一人だ。数カ月間、北名古屋市の大橋鉄工本社

年に厚生労働省の技能検定「射出成形技能士」1級に合格した。同検定で1級に合格したのは、秋田県内の

秋田工場の高橋輝年工場長は「女性が活躍する場は今後もっと増えてくる。小

づくりに努める考えだ。

粘り強い県民性

自動車産業のもう一段の

失敗してもあきらめず、地道にモノづくりに向き合う人材を育てることが出来るか。粘り強い秋田の県民性が経済活性化の鍵を握る。

